

チャンギ国際空港

シンガポール航空のエアーホステスのコスチュームが大好きだ。馬子にも衣装ではないが、デザインの良さに加えて、南国ムード漂わせる色柄はついうっとり見とれてしまう。私の採点では世界No.1である。これは昔から今日まで変わることはない私の思いだ。

関西空港を飛び立ってシンガポールのチャンギ国際空港に着いたのは早朝4時過ぎであった。まだ夜は明けていないため周りの全体像は掴めない。しかし広さ1300ヘクタール世界最大級の空港であることは理解できる。4つのターミナルを有し深夜早朝も離発着可能な空港である。



1981年のオープン以降、世界中の航空・空港関係の受賞を累計すると300以上にもなる。取分けベストエアーポートの名前が付くものも、数多く受賞することからチャンギ空港の素晴らしさが至る所で感じられた。

この空港はシンガポール本島の東端に位置し、本島南端部の中心街までは約20Km。帰国時は昼間であったため、高速道路を走る車窓を楽しめることが出来た。中央分離帯には、延々と美しい南国の花壇が続いていた。シンガポール政府の道路整備の政策と、街を花で飾ろうとの美的感覚が窺い知れた。そして右側には美しいコバルトグリーンの海岸線。左には手入れの行き届いたゴルフ場。素晴らしいロケーションの中でチャンギ空港に到着した。

空港内の広々としたスペースには驚きだ。搭乗手続きの受付嬢の感じ良い笑顔は「シンガポールを楽しめたでしょう！またお越し下さい」との表情に感じられた。 撮影 2011年夏

